

福祉広報



ばんだい

第49号

令和5年3月発行

発行所

社会福祉法人

磐梯町社会福祉協議会

73-2181、3022



地域のサロン活動

関連記事：7ページに記載



祝 百寿



2月9日に
満100歳を迎えた
大堀八重子さん（赤枝）

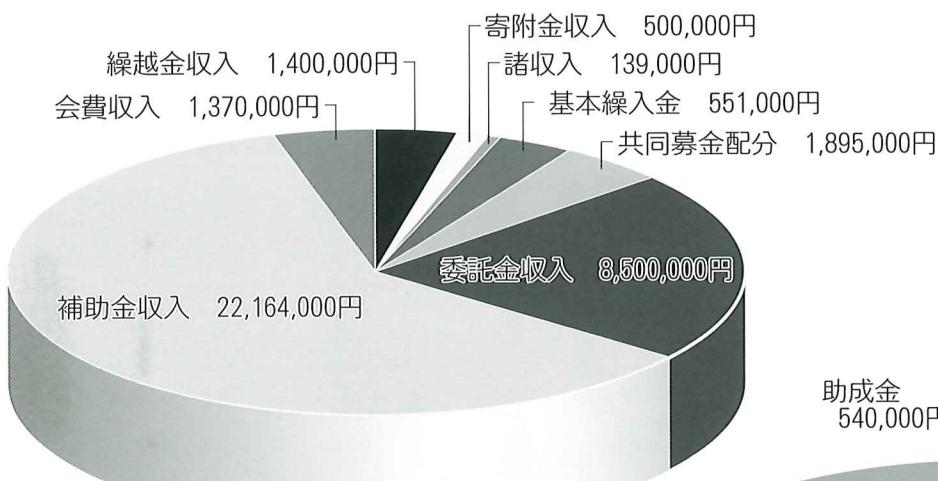


2月24日に
満100歳を迎えた
田部マサ子さん（入倉）

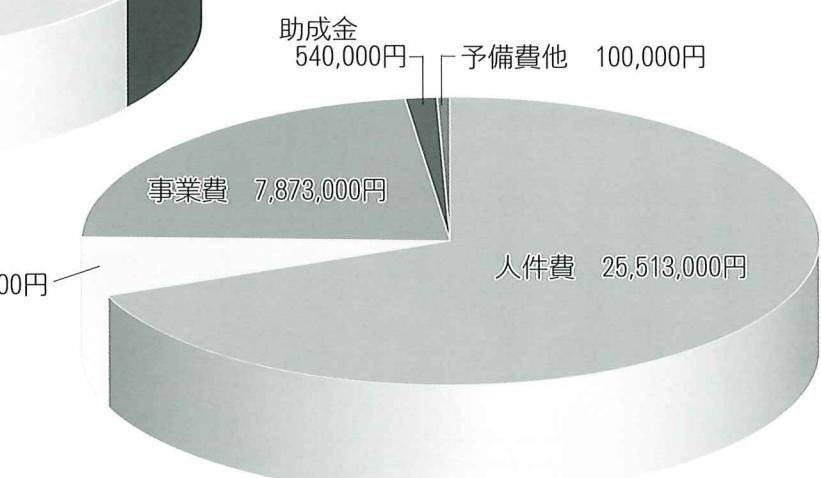
令和5年度の予算状況

予算総額 36,519,000円

収入



支出



◇◇ 令和五年度事業計画 ◇◇

今日の社会福祉を取り巻く環境は、少子・高齢化の進行や家族形態の変容、地域でのつながりの希薄化などが進み、さらには新型コロナウィルス感染症の世界的拡大を受け、人々同士の交流に影響が及ぶ状況も現れてきており、社会的な孤立や生活困窮といった様々な問題が深刻化しています。

こうした中、一人ひとりの課題を地域全体で共につながり支え合う「地域共生社会づくり」の実現、誰もがその人らしく、安心して暮らせる福祉社会を目指して、本町の社会福祉向上のための取り組みが一層重要となっています。

このため、本会は生活支援を行う担い手の養成・発掘・新たな活動の創出など、高齢者の支え合う地域づくりができるよう、地域包括ケアシステムのあり方を構築してまいります。更には、要介護状態等となることの予防、要支援状態の軽減もしくは悪化の防止及び自立した日常生活を営むことができるよう、生活支援ホームヘルプサービス事業・介護予防体操教室、ミニデイサービス事業を実施いたします。「町民一人ひとりが、住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉社会」の実現に向け、民生委員や保健及び医療等関連領域機関団体との連携を一層密にし、地域福祉の要として事業の推進にあたり、町民のくらしと福祉のより一層の安定を目指します。

主な事業

項目	実施事項	実施内容
1. 地域福祉活動の充実強化	介護予防・生活支援事業の実施	介護予防健康増進事業の実施（しゃんしゃん生き生き体操教室）毎週火曜日 全49回実施
		ミニデイサービス事業の実施 毎週火曜日 每週火曜日 全49回実施
		介護予防生活支援ホームヘルプサービス事業の実施
		介護予防生活支援体制整備事業の実施（生活支援コーディネーター配置）地区サロン補助 訪問活動
		高齢者世帯日常生活支援相談事業の実施（相談支援員の訪問）
		一人暮らし世帯親睦交流事業（食事サービス）の実施
		外出支援サービスの実施（一般の交通機関を利用する事が困難な高齢者の医療機関等の送迎）
		高齢者世帯等除雪サービス事業の実施
		一人暮らし等高齢者世帯の防火診断（安否確認） 町・消防署
		一人暮らし等高齢者の日常生活必需品買物支援の実施 年2回実施
2. 心配ごと相談事業の推進	健康維持増進事業の実施	一人暮らし等高齢者へのメッセージカード贈呈事業の実施
		日常生活自立支援事業（あんしんサポート事業）の実施 金銭管理・支払代行
	要援護世帯の自立更生促進	福祉車両（車椅子同乗）の貸出
		ギャジベッド・エアーマット等福祉機器の貸出
		敬老祝い品贈呈事業
3. ボランティア活動の推進	心配ごと相談所の開設	健康ウォークの実施（4月～10月）
		ニュースポーツの普及による健康維持増進を図る。
	心配ごと相談の機能強化	生活福祉資金の利用促進を行い、生活の維持と安定を図る。
		生活困窮者自立促進支援事業の促進
		歳末たすけあい募金の配分
		毎月2回開設（第3日曜日、25日）[定例相談]
		児童相談の開設（毎月25日） [定例相談]
	ボランティア活動の普及 ボランティア・福祉教育の推進	各種相談員研修会等に参加し資質の向上に努める。
		関係機関との連携により相談者のさまざまなニーズに対応する。
		ボランティア保険への加入促進
		ボランティアセンター機能の整備促進
		社会福祉（ボランティア）講座の実施（5回）
		福祉出前講座の実施（車椅子体験、高齢者疑似体験、認知症サポータ養成講座等）
4. 広報・啓蒙活動の推進	調査広報啓蒙活動の推進	小中学校を拠点とし福祉活動を実践する児童生徒のボランティア活動普及事業の推進・助成
		児童生徒の福祉に対する理解と関心を図るために、高齢者疑似体験等を通じ福祉教育を実践する。
		児童生徒に対し認知症サポーター養成事業を通じ福祉教育を実践する。
5. 老人福祉センターの運営	各種事業の推進	福祉関連の情報収集・提供を図る。
		ホームページによる情報の配信
		広報誌の発行、町広報等への記事掲載
6. 福祉団体の育成	各福祉団体の育成指導協力	入浴開放事業を推進し健康維持増進、生きがい作りを図る
		各種教室事業を推進し健康維持増進、生きがい作りを図る
		民生児童委員と連携を密にし、福祉サービスの充実強化を図る。
7. 共同募金会事業の協力	赤い羽根募金の推進	老人クラブ連合会と連携を強化し高齢者福祉の充実に努める。
		身体障害者福祉会と連携を強化し身体障害者の自立更生、社会参加活動を促進する。
		赤い羽根募金活動の積極的な展開
	歳末たすけあい募金の推進	配分金による各福祉団体への助成
		配分金による各福祉活動の充実を図る。
		歳末助け合い募金活動の積極的な展開
		民生児童委員の協力により、配分対象者の調査、配分の実施
8. 日本赤十字社事業の協力	日本赤十字社活動の協力	一般公募による配分により小地域福祉活動の充実を図る。
		日本赤十字社福島県支部磐梯町分区事務局事務、分区活動の実施
		日本赤十字社社資増強運動の実施
9. 財政基盤の確立	会員加入促進	献血運動の推進
		会員の加入を促進し自主財源の確立に努める。
	共同募金活動の推進	特別会員、賛助会員の加入促進
		赤い羽根募金活動の積極的な展開により財政基盤の確立に努める。



なお、受賞された方、意見発表者は次の通りです。
(敬称略します。)

受賞者

①永年に亘り本会役員として貢献され表彰状を贈られた方

小檜山 律子(落合)

橘 純一(入倉)

②民生・児童委員として功績が顕著で表彰状を贈られた方

卯月 幸一(横達)

③永年に亘り民生・児童委員として貢献され感謝状を贈られた方

松岡 芳江(七ツ森)
穴澤 順子(一の沢)
秋山えさ子(大寺五区)

④社会福祉に多額の寄付をされて感謝状が贈られた方

金田 静子(大寺六区)
五十嵐 光雄(入倉)
遠藤 久範(下西連)
安部 斎光(大寺六区)
桑原 大(大寺六区)

⑤厚生労働大臣より民生・児童委員感謝状伝達

松岡 芳江(七ツ森)
穴澤 順子(一の沢)
秋山えさ子(大寺五区)

松川 敦美(大寺六区)
薄 喜代次(本寺)
永澤 浩(入倉)
田部 久美子(上西連)

意見発表

・磐梯第一小学校

三年 宮本 真太朗
題「大きき、じいちゃん、ばあちゃん」

・磐梯第二小学校

六年 田中心晴
題「おじいちゃんありがとうございます」

二年 ヒルチー穂花
題「福祉の大切さについて」

題「磐梯の中学校」



ひとり暮らし高齢者 ミニ旅行で楽しむ



子どもから高齢者までを対象として、競い合うことよりも楽しむことを重視して「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に自由に楽しめる」スポーツとして、十一月二十四日に町民体育館にてニュースポーツ大会を開催しました。今年は四十九名が参加し、競技を楽しまれました。今回は公式ワナゲとスカットボールの二種目で行われ、皆さん高得点を目指して取り組まれ、自分の結果だけにこだわらず、他の参加者が高得点を図ることを目的として、十月十九日に福島市へ出かけました。古閑裕而記念館では懐かしの楽曲や連続テレビ小説の企画展を見て回り、ぶどう狩りではみずみずしいぶどうを楽しめました。皆さん、普段遠くまでかける機会が少ない方も多い、久しぶりに会った友達と交流を楽しみながら、普段見ることのできないものを見たり、食べたりして喜ばれていました。

町老人クラブ連合会 ニコースポーツ大会



子どもから高齢者までを対象として、競い合うことよりも楽しむことを重視して「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に自由に楽しめる」スポーツとして、競技を重視して「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に自由に楽しめる」ス

点を出せば一緒になつて喜ぶなど、会場内が一体となって競技に打ち込まれていました。
結果は次の通りです。

個人男子の部

・優勝

古川 重幸（福寿会）

・準優勝

大田 忠雄（一の沢）

個人女子の部

・優勝

吉江（赤枝）

・準優勝

佐藤 吉江（赤枝）

団体

・優勝

穴澤 園子（大寺五区）

・準優勝

福寿会・一の沢チーム

赤枝チーム

のど自慢発表会で 美しい歌声を披露！

日頃から趣味や愛好会の活動で美しい歌声を磨いている地域の方々を対象に、今年は四年ぶりにのど自慢発表会を開催しました。新型コロナウイルスが流行する以前の平成三十年以来とい



うことで、待ち望んでいたといふ声も多くあり、感染予防対策を万全にして開催しました。参加者はコロナ前に開催していた頃と比べると少なく、当日は七名のエントリーがあり、飛び入りで一名の方が参加されました。皆さん、懐かしの名曲や近年人気が出ている有名な曲など、思い思いの歌を選曲し、披露してくださいました。

参加者の皆様には参加賞を渡し、喜んでいただけたよう

でした。久しぶりの開催でしたが、気持ちよさそうに歌われている表情、聞いている方の楽しそうな顔など、開催できて良かつたと思える大会となりました。

▲△△～磐梯町の宝物～ 結まちばんだい △△▲

生き生きとした生活を送るために…

- ・「きょういく」 今日行くところがある
- ・「きょうよう」 今日用事がある



とにかく外に出て人と交流することがいつまでも元気でいる秘訣だと思います。

地域のつながりを持っている方、近所の人と交流を持っている方は、はつらつとしている印象を周囲に与えます。



食事、運動以外にも一番大切なことは人とつながることです。

つながることで支え合いや困りごとの解決にも結び付きます。

町民の皆さん元気な暮らしぶりを生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）は「見える化」して周知しております。

つながりを維持している活動等があればぜひお声掛けください！



生活支援コーディネーター
大関 美智子
TEL 73-3022

赤い羽根共同募金

募金種類	件数	金額
戸別募金	1,040	520,000
法人募金	21	136,000
職域募金	4	113,974
学校募金	3	16,159
その他の	3	29,185
計	1,071	815,318

歳末たすけあい募金

募金種類	件数	金額
戸別募金	1,002	501,000
職域募金	2	486,678
その他	4	31,101
計	1,008	1,018,779

歳末たすけあい運動（十月～十二月）は各行政区長、民生児童委員並びに町内の事業所、各種団体のご協力により、温かい善意をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

共同募金の役割は「社会福祉法」において「地域福祉の推進」と定められており、皆様からお預かりした善意は福島県共同募金会を通じ、社会福祉施設や福祉関係団体に届けられ、地域福祉活動に役立てられています。

地域福祉の推進を目的とする共同募金は「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに掲げ運動を進めております。今後とも皆様のより一層のご理解とご協力を願い申し上げます。誠にありがとうございました。



令和四年度 共同募金報告

災害義援金を受け付けしております

○「2023年トルコ・シリア地震救援金」を受け付けしております。皆様方のご協力をお願いいたします。

<受付期間>

令和5年5月31日まで

<協力方法>

1. ゆうちょ銀行・郵便局によるご協力
口座番号 00110-2-5606
口座名義 日本赤十字社

2. 銀行振り込みによるご協力

① 三井住友銀行 すずらん支店 普通 2787787

② 三菱UFJ銀行 やまびこ支店 普通 2105790

③ みずほ銀行 クヌギ支店 普通 0623536

口座名義はいずれも「日本赤十字社（ニホンセキキュウジシャ）」

*詳しくは日本赤十字社のホームページ (<https://www.jrc.or.jp/>) をご参照ください。



第70回
記念

福島県身体障がい者福祉大会

福島県身体障がい者福祉会
会長表彰受賞

十月二十六日に二本松市

民会館にて、第七十回福島

磐梯町身体障がい者福祉会
開催され、当席上において

県身体障がい者福祉大会が
理事の遠藤眞佐子さんが、

福祉会発展に努められた功
績により更生援護功労者表

彰を受賞されました。本当におめでとうございました。

ご寄付ありがとうございました。

このたび、社会福祉協議会にお亡くなりになられました方のご遺志により社会福祉の増進のためにとのとおりご寄付がありました。

厚くお礼申し上げますとともに、お亡くなりになられました方のご冥福をお祈り申し上げます。
(敬称略します)

会津ヤカルト販売株式会社
田中 茂(入倉)故
穴澤主夫(落合)故

保雄
ミチ子

世界各国情勢の変動により、私たちの生活にも大きな影響が出ています。その中でも、物価の上昇は大きな問題です。生活用品の値上げ、電気代の高騰と頭を悩ませる状況が続いています。大変な状況ではありますが、なんとか乗り越えていきましょう。

社会福祉協議会としても、地域の課題を解決していくよう取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

編
集
後
記

磐梯町社会福祉協議会 ホームページ URL <https://bandai-shakyo.jp>

この広報は、赤い羽根共同募金から寄せられた配分金により発行しております。



QRコードはこちら